

講師養成・講師養成研修の実施について

平成 30 年 5 月 23 日
実践ソーシャルワーク塾
塾長 菊池健志

《カリキュラム構成 案》 2日間

1日目

【学習課題】

- ・実務者教育の特性を理解し、実務者に対する研修の意義や目的を踏まえた講義が担える。
- ・講義構成の基礎的な知識・技術を体系的に理解して、自ら講義を組み立てられる。
- ・授業デザインの基礎を理解し、基礎研修のガイドラインから、実際に自分自身の授業をデザインしてみる。

【カリキュラム概要】

午前 講義と演習

- 実務者教育の特性
- 実務者教育における講義と演習の特性と配慮
- 実務者教育における講義と演習の目的と効果
- 「主体的で対話的な深い学び(アクティブラーニング)」への要請
- 実務者教育における講義と演習の組み立て
- 授業デザインの6つの構成要素
- 実務者教育における講義・演習の展開

午後 講義と演習

- 実務者教育における講義・演習の展開
- 講義方略の組立(シラバス)の実際 【グループ演習】
研修の担当科目を題材にし実際に授業をデザインしてみる。(シラバス作成)
グループごとに短い演習・講義の方略、授業計画を作成 (ワークシヨップ)

2日目

【学習課題】

自分でデザインした授業を実際に進めてみて教授体験をしてみる

【カリキュラム概要】

- マイクロティーチング (MT) (ロールプレイ)
教授学習者自身による小人数クラスで短時間(10~20分程度)の模擬授業を実施、ビデオ録画等により後に相互評価、検討を実施することで授業内での事象の分析力や対処力を養う
- 教授方の評価、検討の実施 (事例検討・ダイアログ)